

平山郁夫さん作品 忠実に再現 版画40点展示



平山さんの作品を再現した版画などの展示準備が進む会場＝長浜市内保町の浅井文化ホールで

長浜

日本画家で文化勲章受章者の平山郁夫さん（一九三〇～二〇〇九年）の作品を緻密に再現した版画展が十三日、長浜市内保町の浅井文化ホールで始まる。十六日まで。入場無料。

平山さんは日本文化の源流を訪ね歩いたシルクロードに関する作品群が有名。広島県出身で戦時中に被ばくした経験があり、紛争などで破壊された遺跡などの修復に尽力したことも知られる。

展示は、二十八歳から死去前年までの約四十点。デジタル技術を使った版画に文化財の修復家が彩色を施した「工芸画」など、い

ずれも原画を忠実に再現している。「月光らくだ行」では、夜の砂漠を背にきらめく旅人の装束やラクダの背の質感が巧みに表現されている。

主催する大阪府枚方市の絵画展企画会社「ほるぷA&I」の原野諭喜夫営業部長（六四）は「再現技術とともに、作品に込められた平山さんの平和への思いも伝えたい」と話している。

大津市出身の日本画家故小倉遊亀さんら、著名な画家や書家二十人の作品版画など三十点もある。午前九時半～午後五時半。●ほるぷA&I 072（805）0595（川添智史）